



2026 年 10 月 15 日

株式会社商船三井さんふらわあ

当社フェリーに導入の船舶保守遠隔支援サービス、国土交通省認定第 1 号を取得
～デジタル技術の活用により、安全運航と保守業務の高度化を推進～

株式会社商船三井さんふらわあ(社長:牛奥 博俊、本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、当社運航 LNG 燃料フェリー「さんふらわあ ぐれんない」、「さんふらわあ むらさき」の主機関(バルチラ社「31DF」)の点検・保守に関し、バルチラジャパン株式会社と同社による遠隔監視支援システムが、このたび国土交通省より「遠隔支援業務に係る事業場」認定第 1 号を取得したことをお知らせします。

本制度は、国土交通省が船舶安全法に基づき創設した制度であり、認定を受けた事業場が遠隔から機関の状態を監視・分析し、その結果に基づいて適切な整備を実施することで、船舶の安全性を確保しながら検査制度の合理化を実現するものです。当社では、これまでも環境性能に優れた LNG 燃料フェリーの導入に加え、運航・保守分野におけるデジタル技術の活用を積極的に推進してきました。今回の遠隔支援体制の活用により、主機関の状態を常時把握し、予防保全の高度化を図ることで、さらなる安全運航の確保と安定輸送の実現を目指します。

また、遠隔監視・分析による異常兆候の早期把握や専門家による迅速な技術支援により、船内作業の効率化や船員の負担軽減、整備品質の向上が期待されます。さらに、計画的かつ効率的なメンテナンスの実施を通じて、船舶の運航効率向上と環境負荷低減にも貢献してまいります。

当社は、今後もデジタル技術を積極的に活用し、お客様に安全・安心・快適な海上輸送サービスを提供するとともに、持続可能な海上輸送の実現に取り組んでまいります。

■参考

- ・[国土交通省公表資料「遠隔支援事業場を初めて認定しました！」](#)
- ・[バルチラジャパン株式会社プレスリリース「バルチラ、日本初の船舶用エンジン向け遠隔支援事業場認定を取得」](#)